

# 甲斐市文化遺産年報2

平成26年度・平成27年度

2020  
甲斐市教育委員会

# 甲斐市文化遺産年報2

平成26年度・平成27年度

2020

甲斐市教育委員会

## 序 文

甲斐市は、一見すると宅地しかないように見える街並みですが、実は歴史的な資料の豊富な地域です。双葉地域は、古代の国宮牧場跡である「穂坂牧」の範囲に想定されています。この牧場からは毎年30匹ほどの馬が朝廷に献上され、牧の名前は歌枕にもなっています。また、旧甲州道中や穂坂路沿いには、古い地割が今も残っています。敷島地域は「金の尾遺跡」「松ノ尾遺跡」の集落遺跡に代表されるように、古代からの開発が盛んな地域でした。金桜神社への参拝路である御嶽道が南北に走り、路傍の石造物が当時の人々の盛んな往來を物語っています。竜王地域は「信玄堤」と「竜王河原宿」が特に著名ですが、かつての釜無川の流路のなかに、島のように点在した古い集落が核となって、今の市街地を形成していることは、あまり知られていません。

近年、人口増加に伴い、宅地開発や大型店舗の建設など、多くの開発事業が行われております。平成26年度および同27年度は合計33件の試掘調査を行い、そのうち、12件で遺構や遺物の発見がありました。

こういった開発に伴って失われて行く埋蔵文化財や、地域の歴史を今に伝えるお祭りや踊り、古老の昔話や石碑などの有形・無形の文化遺産を、行政といたしましては調査・保存というかたちで保護していかなければなりません。先人から伝えられた文化遺産は、現在われわれが住む地域の核になっているのです。それが失われるということは、地域の風土や歴史、いいかえればアイデンティティが未来永劫消失してしまうことにほかなりません。

最後になりましたが、甲斐市の文化財保護・保存対策に際し、ご理解とご協力を賜りました関係各位に深く感謝いたします。

令和2年3月30日

甲斐市教育委員会

教育長 三 澤 宏

# 例 言

1. 本書は山梨県甲斐市における平成26年度および平成27年度文化遺産保護・活用に関する概要を記した年報である。
2. 甲斐市における文化遺産の保護・活用に関する行政組織は次のとおりである。

平成26年度		平成27年度	
甲斐市教育委員会	教 育 長 加賀美 英 教 育 部 長 勝村 秀彦	甲斐市教育委員会	教 育 長 勝村 秀彦 教 育 部 長 奥野 経雄
生涯学習文化課	課 長 樋口 充	生涯学習文化課	課 長 保坂 江里
文化財係	係 長 大嵩 正之 主 事 長谷川哲也 臨 時 職 員 田中明日香	文化財係	係 長 大嵩 正之 主 任 長谷川哲也 臨 時 職 員 田中明日香

平成26年度・27年度 文化財調査協力員（順不同）

高添美智子・望月 典子・田中ひとみ・伊井 實・深沢 友子・醍醐 三郎・秋山高之助・小林 求  
手塚 松雄・森沢 篤美・羽中田 勲・堤 吉彦・日向 充雄・青柳 正史・立花 重光・横内 博  
古屋 秀雄・斎藤 功記・笠井 治・滝沢やす子

3. 本書の執筆・編集は長谷川が行った。
4. 本書に掲載した史・資料、諸記録はすべて甲斐市教育委員会に保管してある。
5. 本書に掲載した調査内容は、一部で整理分析調査を断続的に継続しているものがある。そのため、今後の作業の進展によっては本書の記載内容に変更が生じる可能性がある。
6. 平成26年度および平成27年度中の文化遺産保護業務にあたり関係各位からご理解、ご協力を頂いた。ここに感謝申し上げる次第である。

# 目 次

第1章 文化遺産の保護と活用	1
1 文化財保護審議会	1
2 指定文化財	2
3 教育・普及事業	4
第2章 埋蔵文化財	9
1 平成26年度 埋蔵文化財保護行政概要	9
2 平成26年度 試掘調査概要	11
3 平成27年度 埋蔵文化財保護行政概要	19
4 平成27年度 試掘調査概要	20

# 表・挿図 目次

第1-1表 文化財保護審議会委員名簿	1	第2-1表 平成26年度 試掘調査一覧	9
第1-2表 平成26年度審議会活動	1	第2-2表 平成26年度 開発の届出件数	9
第1-3表 平成27年度審議会活動	2	第2-3表 平成26年度 包蔵地問合せ件数	9
第1-4表 平成26年度 歴史講座（全12回）	5	甲斐市内 遺跡地図（部分）	10
第1-5表 平成27年度 歴史講座（全12回）	5	第2-4表 平成27年度 試掘調査一覧	19
第1-6表 平成26年度 講師派遣依頼	6	第2-5表 平成27年度 開発の届出件数	19
第1-7表 平成27年度 講師派遣依頼	7	第2-6表 平成27年度 包蔵地問合せ件数	19

# 第1章 文化遺産の保護と活用

## 1 文化財保護審議会

平成26年度の文化財保護審議会は委員の改選が行われ、合併以前から数島町および竜王町で長年にわたり文化財保護審議会委員をお勤めになった羽中田 壯雄氏が退任された。そこで甲斐市文化財保護条例第20条1項に基づき、坂本 美夫氏が会長に選任された。また、同条例第3項に基づき、坂本会長から新津 健氏が職務代理に指名され、選出された。委員は2年任期であるため、平成26年度から同27年度の甲斐市文化財保護審議会委員は下表のとおりとなった。

第1-1表 文化財保護審議会委員名簿（任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日）

役 職	氏 名	担 当
会 長	坂 本 美 夫	史跡・有形文化財
職務代理	新 津 健	名勝・有形文化財
委 員	中 込 司 郎	天然記念物
委 員	鈴 木 麻 里 子	有形文化財
委 員	畑 大 介	有形文化財

第1-2表 平成26年度審議会活動

開 催 日	内 容	開 催 場 所
平成26年4月23日	委員委嘱状交付式及び第1回審議会	甲 斐 市
平成26年5月13日	第2回審議会	甲 斐 市
平成26年2月3日	第3回審議会及び現地踏査（天澤寺山門）	甲 斐 市
平成27年3月6日～7日	委員研修 塚原遺跡公園・展示館（岐阜県関市千疋） 次郎兵衛塚1号墳・川合考古資料館（岐阜県可児市川合北） 高蔵寺3号墳（愛知県春日井市高蔵町六丁目） 大留荒子古墳（愛知県春日井市大留一丁目） 愛知県立陶磁美術館（愛知県瀬戸市南山口町） 清田の大クス（愛知県蒲郡市清田町） 見徳古墳（静岡県浜松市北区新都田一丁目） 谷田1号墳・54号墳他（静岡県静岡市駿河区谷田）	岐 阜 県 愛 知 県 静 岡 県

### 平成26年度 文化財保護審議会 主要議題

- 第1回…当該年度主要事業の説明（埋蔵文化財緊急調査、範囲確認調査、慈照寺防災施設改修事業）  
第2回…市指定文化財の解除「寶珠寺のヒイラギ」に関する件→枯死により平成26年5月30日指定解除  
第3回…市指定文化財（建造物）「天澤寺山門」修復事業の経過説明および現地踏査  
市史跡「滝坂の往生塚」並びに「双葉1号墳」について



写真1 委員研修（塚原遺跡公園）



写真2 委員研修（次郎兵衛塚1号墳）



写真3 委員研修（清田の大クス）



写真4 委員研修（谷田1号墳）

### 第1-3表 平成27年度審議会活動

開催日	内容	開催場所
平成27年6月7日	第1回審議会	甲斐市
平成27年9月15日	第2回審議会及び現地踏査（大庭遺跡）	甲斐市
平成28年1月12日	第3回審議会及び現地踏査（賞梅院・滝坂の往生塚）	甲斐市

#### 平成27年度 文化財保護審議会 主要議題

第1回…当該年度主要事業の説明（埋蔵文化財緊急調査、範囲確認調査、慈照寺防災施設改修事業、安楽寺仏像修復事業）

第2回…松ノ尾遺跡第15次調査、大庭遺跡第1次調査（現地踏査あり）について

第3回…史跡賞梅院跡の現状変更について（防火水槽の撤去）、山縣神社の国登録文化財について

慈照寺「木造三尊像」（市指定）の県指定に係る件、安楽寺木造阿彌陀如来坐像の修復経過報告

## 2 指定文化財

### 寶珠寺のヒラギ（市指定・天然記念物・昭和63年3月4日指定）の指定解除

平成24年春ごろから西側幹に葉落ちがみられ、文化財保護審議会天然記念物担当と現地踏査を行った結果、テントウミノハムシによる葉枯れと診断された。所有者と協議し虫害駆除のためオルトラン水和剤の散布を実施し、経過観察を行った。平成26年3月24日の文化財保護審議会現地踏査では、99%の枯死が認められた。このことから所有者から指定解除の申し出があり、種々の手続きを踏んだうえで、平成26年5月30日に指定解除となった。

#### 天澤寺山門（市指定・建造物）修復事業

平成24年度に天澤寺から山門修復の意向があることを伝えられた。山門は石積みのズレ、山門の傾斜が認められた。平成25年度中は関係各所に説明等を行った結果、平成26年度当初予算に修復経費補助金が計上された。修復事業は天澤寺と鶴石川工務所が契約を結び、平成26年4月30日に修復工事着工、平成27年3月31日に修復が完了した。詳細については甲斐市文化財調査報告第27集「甲斐市指定有形文化財 天澤寺山門保存修理工事報告書」を参照。

#### 安楽寺 木造阿弥陀如来坐像（市指定・彫刻）修復事業

平成25年度中に安楽寺兼務住職である慈照寺住職から修復の話があり、平成26年度の文化財保護審議会にて、有形文化財担当から「ひびや割れは修復でよいが、当初の仏像の形状が不明なため、現状維持の修復を行うように」との意見があった。それをふまえ、平成27年度に事業を実施した。修復事業は安楽寺と樹明古堂が契約を結び、平成27年7月14日に着手、平成28年3月31日に完了した。

#### 慈照寺 木造釈迦如来及び両脇侍坐像（市指定・彫刻）の県指定

平成27年11月16日に県文化財保護審議会有形文化財部会委員の現地視察が行われ、同年11月27日に慈照寺から文化財指定申請書が山梨県教育委員会宛に出された。その結果、「県内の宝冠釈迦三尊像を代表する作例」、「院派様式の優れた出来具合を示す、県内の室町時代の彫刻を代表する作例」として、平成28年2月22日付で市指定文化財から県指定文化財となった。



写真5 寶珠寺のヒラギ（撮影日：2014年4月）



写真6 天澤寺山門（撮影日：2014年9月）



写真7 安楽寺木造阿弥陀坐像  
（撮影日：2015年12月）



写真8 慈照寺木造三尊像

## 説明板設置事業

甲斐市内には、国指定3件・県指定23件・市指定77件、合計103件の指定文化財が所在し、4件の国登録文化財がある（令和元年度現在）。市教育委員会では市民をはじめ多くの方々に広く文化財のことを知ってもらうための取り組みの一つとして、文化財説明板の整備を進めている。平成26年度・27年度は、老朽化や未設置箇所への説明板設置を行った。説明版設置を行った文化財は下記のとおりである。

### ・平成26年度

船形神社石島居（県・建造物）、下菅口の郷倉（県・有形民俗）、赤坂供養塔（市・有形民俗）、上八幡のヒイラギ（市・天然記念物）、龍蔵院の無患子（市・天然記念物）

### ・平成27年度

慈照寺庭園（市・名勝）、法久寺のカシワ（市・天然記念物）

## 文化財防火デー

文化財防火デーに伴う立入検査および防火訓練が、以下のとおり行われた。

### ・平成26年度 第61回文化財防火デー

立入検査（1/26）…山縣神社（山県大武自筆著書並墨書）、金剛寺（袴腰天神本殿）、慈照寺（法堂・山門ほか）、松尾神社本殿、長光寺（峰観音堂）、天澤寺（山門ほか）、常説寺（白興）

消防防火訓練（1/25）…光照寺薬師堂

### ・平成27年度 第62回文化財防火デー

立入検査（1/26）…松尾神社本殿、長光寺（峰観音堂）、天澤寺（山門ほか）、金剛寺（袴腰天神本殿）、神明神社本殿、慈照寺（法堂・山門ほか）、三社神社本殿

消防防火訓練（1/30）…光照寺薬師堂



写真9

平成26年度文化財防火デー 金剛寺



写真10

平成27年度文化財防火デー 光照寺

## 3 教育・普及事業

甲斐市内や甲斐市に関係する文化遺産について、市民の方に広く理解してもらう歴史講座と、講師派遣依頼に基づいた市内文化遺産等の解説を行った。詳細は下記のとおりである。特記事項として、平成26年度は甲斐市政10周年を迎えたことにより、それを記念した展示や講座を行った。平成27年度に行った大庭遺跡第1次発掘



調査において、未知の古墳石室が発見されたことにより、同年11月1日に現地説明会を行い、約100名の方々が見学に訪れた。

第1-4表 平成26年度 歴史講座（全12回）

開催日	講座名	講師	内 容	参加人数
6月7日 6月21日 7月12日	古文書講座	中野 賢治氏 (山梨県立博物館 学芸員)	初心者向けの古文書講座	23
24				
23				
7月27日	夏休み 子ども歴史講座	市学芸員	午前：勾玉作り 午後：巻物作り	24 17
8月2日 8月23日 9月13日	甲斐市の遺跡紹介	市学芸員	市制10周年記念展示に合わせた講座	15
18				
7				
9月28日 10月18日 10月25日 11月8日	仏像を学ぶ	鈴木 麻里子氏 (市文化財保護審議会委員)	第1回：講義	22
第2回：市内研修（慈照寺、称念寺、瑞良寺、金剛寺）			23	
第3回：県内研修（福光園寺、瑜伽寺、普光寺）			23	
第4回：県外研修（浄業寺、鎌倉国宝館、極楽寺）			22	
3月24日	植物文化財を学ぶ	中込 司郎氏 (市文化財保護審議会委員)	午前：講義 午後：市内研修（信玄堤のケヤキ、楊枝梅、龍藏院のムクロジ、法久寺のカシワ・コップガヤ）	20

第1-5表 平成27年度 歴史講座（全12回）

開催日	講座名	講師	内 容	参加人数
5月30日 6月13日 6月20日 7月4日	古文書講座	中野 賢治氏 (山梨県立博物館 学芸員)	古文書講座 初級編	17
17				
14				
15				
8月8日 8月21日	夏休み 子ども歴史講座	市学芸員ほか	大きな勾玉作り 縄文クッキー作り	24 13
10月10日 10月24日 11月7日	仏像を学ぶ	鈴木 麻里子氏 (市文化財保護審議会委員)	第1回：市内研修（羅漢寺、常説寺、正授院）	25
第2回：県内研修（放光寺、清水寺、神宮寺）			25	
第3回：県外研修（真正寺、牛伏寺、法華寺）			25	
2月21日	石造物を学ぶ	畑 大介氏 (市文化財保護審議会委員)	竜王1区周辺、龍光院、大福寺、善光寺、東光寺、天澤寺	26
2月25日 3月16日	植物文化財を学ぶ	中込 司郎氏 (市文化財保護審議会委員)	第1回：講義	22
第2回：市内研修（三恵の大ケヤキ、古長禅寺のビャクシン、永岳寺の大カシ、武田八幡宮の森） 県内研修（本遠寺のクスノキ、久遠寺のシダレザクラ・スギ林・下山のオハツキイチヨウ群）			20	

第1-6表 平成26年度 講師派遣依頼

開催日	申請者	内 容	参加人数
1 4月5日	BS11	信玄堤解説	不特定
2 4月8日	網走測量設計協会(北海道)	信玄堤解説	30
3 4月16日	郷土研究部	北山筋歴史探訪(總會記念講演)	25
4 5月6日	竜王新町1区自治会いきいきサロン	竜王新町の履歴書	20
5 5月23日	竜王ライオンズクラブ	山県大武解説	85
6 6月18日	竜王小学校長	竜王の有名な人について調べよう	66
7 6月25日	中巨摩教育協議会長ほか	信玄堤について	21
8月7日		信玄堤現地解説	21
8 7月4日	ことぶき勸学院	山県大武と竜王新町について	45
9 7月7日	竜王小学校長	縄文土器をつくろう	66
10 7月11日	双葉中学校長	2年 職場体験	2
11 7月12日	清川地域ふれあい館長	史跡めぐり(富士川町方面)	30
12 7月24日	白根高校長	2年 職場体験	2
13 8月1日	竜王北中学校長	2年 職場体験	2
14 8月1日	神奈川県高等学校社会部長ほか(神奈川県)	信玄堤解説	25
15 8月7日	中巨摩教育協議会長ほか	市内の祭り、主な文化財について	17
16 8月20日	敷島地区小学校社会科教員	地域の伝統行事について	3
17 8月25日	桐朋女子高校長(東京都)	信玄堤の学習会	21
18 8月25日	BSテレビ東京	空から日本を見てみよう(信玄堤解説取材)	不特定
19 8月26日	山梨大学ほか	3年 インターンシップ	5
20 8月26日	宮地自治会いきいきサロン	上条河原古戦場解説	20
21 9月4日	竜王北小学校長	信玄堤関連施設開設	87
22 9月12日	竜王西小学校長	信玄堤解説	59
23 9月16日	月林自治会いきいきサロン	地域の歴史遺産	15
24 10月6日	竜王西小学校長	地域に残る戦争遺跡について	64
25 10月17日	敷島南小学校長	信玄堤関連施設について	62
26 10月23日	敷島小学校長	信玄堤解説	77
27 10月25日	甲府地区広域行政事務組合管理者	ふるさと再発見ツアー(天澤寺)	72
28 10月27日	希望ヶ丘自治会いきいきサロン	希望ヶ丘周辺の文化遺産・現地研修	15
29 10月29日	竜王小学校長	竜王のよきについて知ろう	67
30 11月1日	竜王中部公民館長	公民館子どもふれあい講座	8
11月8日		「古代ヘタイスリッパ」	8
31 11月5日	NHKBS	発見!体感!富士川紀行	不特定
32 11月5日	竜王小学校長	信玄堤解説	74
33 11月14日	あけぼの支援学校	2年 職場体験	1
34 12月5日	山梨ことぶき勸学院中北教室	山県大武ゆかりの地と周辺の歴史文化	17
35 12月6日	法政大学地理学会長(東京都)	御勅使川扇状地・信玄堤の案内・解説	27
36 12月9日	玉幡小学校長	竜王地区と水害、信玄堤解説	65
37 1月16日	月林自治会いきいきサロン	地域の歴史遺産について	15
38 1月14日	中巨摩教育協議会長ほか	山縣神社解説	26
39 1月21日	竜王西小学校長	おみゆき祭り解説	64
40 1月22日	竜王小学校長	私たちの住む竜王を見つめなおそう 評価	34
41 2月4日	中巨摩教育協議会長ほか	市制10周年記念展示の解説	30
42 2月7日	山梨県立大学長	竜王小6年の総合学習の評価	33

43	2月12日	敷島南小学校長	さぐってみよう 昔のくらし	67
44	2月17日	竜王東小学校長	さぐってみよう 昔のくらし	75
45	3月3日	竜王東小学校長	おみゆき祭りと山縣大貳祭りについて	55
46	3月3日	敷島小学校長	さぐってみよう 昔のくらし	74
47	3月12日	睦沢地域ふれあい館長	史跡めぐり（都留市方面）	32
48	3月23日	竜王北小学校	信玄堤解説	82
49	3月25日	吉沢地域ふれあい館長	史跡めぐり（秩北方面）	32

第1-7表 平成27年度 講師派遣依頼

	開催日	申請者	内 容	参加人数
1	4月16日	郷土研究部	赤坂台古墳群（総会記念講演）	25
2	4月24日	敷島南小学校長	身近な地域の歴史探検に出かけよう	66
3	5月12日	名取自治会いきいきサロン	名取の履歴書	30
4	5月22日	敷島中学校長	ふるさと探訪 信玄堤解説	22
5	5月27日	中巨摩教育協議会長ほか	市内の祭り、文化財について	25
6	5月31日	甲斐市聴覚障害者協会長	治道の史跡や山県大貳の歴史について	25
7	6月18日	山梨県立あけぼの支援学校長	信玄堤解説	2
8	7月10日	双葉中学校長	2年 職場体験	2
9	7月11日	清川地域ふれあい館長	史跡めぐり 案内（昭和・甲府方面）	22
10	7月25日	竜王中部公民館長	戦国時代へタイムスリップ	7
11	8月5日	竜王北中	2年 職場体験	2
12	8月7日	中巨摩教育協議会長ほか	現地研修とフィールドワーク	25
13	8月8日	松島団地自治会いきいきサロン	松島団地周辺の歴史を学ぶ	40
14	8月19日	中巨摩教育協議会長ほか	榎無堰について	15
15	8月25日	桐朋女子高校長（東京都）	信玄堤の学習会	25
16	8月25日	山梨大学ほか	2・3年 インターンシップ	5
17	9月10日	敷島台自治会長ほか	事前学習会	21
	11月5日		甲斐市史跡めぐり	21
18	9月29日	宮地自治会いきいきサロン	周辺地域の古墳について	20
19	10月1日	敷島南小学校長	信玄堤関連施設解説	68
20	10月7日	竜王西小学校長	地域に残る戦争遺跡について	41
21	10月8日 10月15日	竜王南部公民館長	竜王南部地域文化財巡り	13
22	10月9日	市議会	市内文化遺産研修（慈照寺ほか）	12
	11月17日		市内文化遺産研修（網倉邸ほか）	13
	11月25日		市内文化遺産研修（天澤寺ほか）	14
23	10月20日	ことぶき勸学院	甲斐市関連史跡研修	12
24	10月21日	敷島小学校長	一の堰と水車について	73
25	10月24日	甲府地区広域行政事務組合管理者	ふるさと再発見ツアー	90
26	10月31日	山梨県埋蔵文化財センター所長ほか	2015年度上半期遺跡調査発表会「松ノ尾遺跡」	100
27	11月1日	生涯学習文化課	大庭遺跡現地説明会	110
28	11月9日	希望ヶ丘自治会いきいきサロン	市内史跡めぐり	20
29	11月11日	敷島小学校長	龍地大溜池、榎無堰等解説	73
30	11月13日	睦合小学校長	信玄堤解説	27
31	11月15日	境区長ほか	境区の遺跡学習会	18
32	11月16日	山梨ことぶき勸学院中北教室	下今井宿等について	20

33	11月18日	竜王小学校長	信玄堤解説	75
34	11月23日	大下条東自治会長	大下条の歴史について	30
35	12月1日	山梨こよき勸学院長	古代仏教文化について	32
36	12月4日	敷島南小学校長	信玄堤関連施設開設	68
37	12月11日	竜王東小学校長	信玄堤解説	53
38	12月20日	さつき野自治会いきいきサロン	地域の歴史	30
39	1月19日	竜王西小学校長	おみゆき祭り解説	43
40	1月22日	竜王東小学校長	おみゆき祭り、山縣大武祭り解説	39
41	1月29日	群馬県道路協会館林支部長(群馬県)	信玄堤について	21
42	1月29日	敷島北小学校長	地域の文化財や年中行事	37
43	2月2日	竜王小学校長	さぐってみよう 昔のくらし	77
44	2月3日	中巨摩教育協議会長ほか	宝飾品が大量出土・新発見の古墳が意味すること等	27
45	2月9日	敷島小学校長	さぐってみよう 昔のくらし	62
46	2月25日	竜王北小学校長	おみゆき祭りについて	69
47	3月1日	敷島南小学校長	敷島地区の伝統行事・文化財について	58
48	3月3日	睦沢地域ふれあい館長	史跡めぐり(韭崎市ほか)	32
49	3月4日	市川南小学校長	信玄堤について	8
50	3月4日	竜王南小学校長	昔の道具調べ	58
51	3月12日	山梨県埋蔵文化財センター所長ほか	2015年度下半期遺跡調査発表会「大庭遺跡」	80
52	3月23日	吉沢地域ふれあい館長	史跡めぐり(峡東方面)	25



写真11

2015(平成27)年度上半期遺跡調査発表会  
「松ノ尾遺跡」



写真12

平成27年度歴史講座 仏像を学ぶ  
真正寺(長野県塩尻市)



写真13

南都町立総合小学校 信玄堤解説



写真14

大庭遺跡第1次調査 現地説明会

## 第2章 埋蔵文化財

### 1 平成26年度 埋蔵文化財保護行政概要

当該年度の試掘件数は第2-1表に示したとおりである。平成25年度の試掘調査件数は15件だったため、当該年度は微増となっている。届出件数は昨年度より10件増、包蔵地問合せ件数は101増であった。過年度までと同様、民間開発によるものが主を占める。

第2-1表 平成26年度 試掘調査一覧

No.	遺跡名	調査地点	対象面積 (㎡)	発掘面積 (㎡)	調査原因	種別	主な遺構	主な遺物	指示番号	備考
1	(中北建設事務所からの依頼)	甲斐市牛久33-1～160-1	1,640.00	56.25	県道改良	包蔵地外	なし	なし	—	試掘依頼
2	原観遺跡	甲斐市島上条458	560.00	21.00	個人住宅	集落 墳墓	なし	なし	平成26年6月16日付・学文931号	
3	松ノ尾遺跡	甲斐市中下条1839-1	2,490.97	38.97	保育園建築	集落	溝跡	土師器	平成26年7月3日付・学文1082号	
4	不動ノ木遺跡	甲斐市中下条1590-2、1591、1592、1594、1609-1	3,200.15	150.43	宅地造成	集落	竪穴建物、土坑	弥生土器	平成26年7月3日付・学文1081号	
5	金ノ宮遺跡	甲斐市中下条567-8	333.17	88.73	個人住宅	集落	竪穴状遺構、集石	縄文土器、石器、土師器	平成26年8月22日付・学文1469号	
6	金ノ宮遺跡	甲斐市中下条567-9	263.68	68.58	個人住宅	集落	竪穴建物、土坑、集石	縄文土器、石器、土師器	平成26年10月6日付・学文1883号	
7	金の尾遺跡	甲斐市大下条地内	96.00	16.50	県道拡張	集落	なし	土師器	平成26年10月14日付・学文1962号	
8	松ノ尾遺跡	甲斐市中下条1444・1445	2,378.00	66.13	宅地造成	集落	竪穴建物、土坑、溝	弥生土器、土師器	平成26年10月14日付・学文1964号	H27年度本調査済(松ノ尾15)
9	松ノ尾遺跡	甲斐市中下条1434-1	1,233.00	62.90	宅地造成	集落	竪穴建物、土坑、溝	弥生土器、土師器	平成26年10月14日付・学文1963号	
10	青物沢遺跡	甲斐市龍地4701-25	434.88	7.35	個人住宅	散布地	なし	なし	平成26年11月19日付・学文2278号	
11	霞堤	甲斐市玉川284-1	528.69	9.60	個人住宅	堤防	なし	なし	平成26年11月27日付・学文2353号	
12	天神反遺跡	甲斐市宇津谷5457-1	57.96	2.86	個人住宅 浄化槽	集落	なし	なし	平成27年1月21日付・学文2786号	
13	大下条第一遺跡	甲斐市大下条76-1、88-1、95-1	2347	88.64	宅地造成	散布地	なし	土師器、土師質土器	平成27年2月3日付・学文2895号	
14	左宮寺遺跡	甲斐市西八幡906-2	364.17	2.56	個人住宅 浄化槽	散布地	なし	なし	平成27年1月7日付・学文2627号	
15	沖田遺跡	甲斐市竜王新町1156-3、1157-1、1159-1	946.00	3.60	集合住宅	散布地	なし	なし	平成27年2月16日付・学文3044号	
16	三昧堂遺跡	甲斐市中下条960-1、961-1、961-5ほか4筆	2648.6	29.715	店舗建設	集落	住居	土師質土器	平成27年1月21日付・学文2763号	
17	(山梨甲斐電平メオソーラー発電合資会社からの依頼)	甲斐市高瀬沢・団子新居地内	290,000.00	1,856.25	メガソーラー施設	包蔵地外	なし	尖頭器、寛永通宝	—	試掘依頼
18	滝坂の住生塚・双塚1号墳	甲斐市龍地303、221	325.00	1.00	学術調査	墳墓	—	土師器	—	測量・清掃

第2-2表 平成26年度 開発の届出件数

	93条 (民間開発)	94条 (公共工事)	試掘依頼	計
試掘調査	15	2	2	19
工事立会	55	13	0	68
慎重工事	11	4	0	15
計	81	19	2	102

第2-3表 平成26年度 包蔵地問合せ件数

	包蔵地内	包蔵地外	計
問合せ件数	191	784	975





甲斐市内 遺跡地図 (部分)

## 2 平成26年度 試掘調査概要

遺構・遺物を確認した第2-1表中のNo.3～6、8・9、16～18の8件について以下に概要をまとめた。なお、メガソーラー発電所建設に伴うNo.17、市指定史跡等であるNo.18についても記述をする。試掘トレンチの番号については、TR-(番号)と表記する。

### No.3 松ノ尾遺跡

所在地 中下条1839-1

調査原因 保育園建設工事

調査期間 平成26年8月5日～11日

調査面積 38.97㎡

調査担当 長谷川哲也

市立しきしま幼稚園の園庭に3本のトレンチを設定し、遺構の残存状況を確認した。遺構はTR-3にのみ確認でき、溝から古墳時代後期に属する土師器が出土した。地表下約35cmで遺構検出面。堆積土は①表土(15cm)、②暗褐色土層(20cm)、③地山となる。TR-1およびTR-2については、カクランより下層は部分的にしか掘削しなかったが、遺構は確認できなかった。溝の位置を記録し、園舎が解体されたのちに改めて園域全体を試掘することとなり、遺構・遺物が確認されたため、平成29年度に本調査を行い、令和元年度に報告書を刊行した。



松ノ尾遺跡 試掘調査位置図



TR-3 遺構検出状況(北から)



調査風景



TR-3 遺構発掘状況(南西から)



TR-3 遺構養生状況(北から)

#### №4 不動ノ木遺跡

所在地 中下条1590-2他  
調査原因 宅地造成工事  
調査期間 平成26年8月20日～9月3日  
調査面積 150.43㎡  
調査担当 長谷川哲也

分譲地の道路部分にトレンチを2ヵ所設定した。南側のトレンチは遺構・遺物が確認されなかったが、北側のトレンチからは遺構・遺物が確認された。基本土層は北側トレンチ北壁で、①耕作土(20cm)、②暗褐色土層(18cm)、③暗褐色土と地山が混じる層(10cm)、④地山である。弥生時代後期～古墳時代初頭に属する焼失住居跡が1軒、堅穴状遺構2基、土坑14基、集石土坑1基を検出した。

焼失住居跡からは複合口縁壺が出土し、口縁部に棒状浮文を施している。摩耗しているものの赤彩が施されていることが看取できた。炭化物を除去するとほぼ床面全体を硬化面を検出し、住居中央やや西寄りに地床炉の枕石を検出した。土坑やその他の遺構に関しては伴出遺物が極めてすくないため、時期の特定は困難であった。



不動ノ木遺跡 試掘調査位置図



北トレンチ 遺構検出状況(南東から)



北トレンチ 完掘状況(東から)



北トレンチ 焼失住居 完掘状況(北東から)

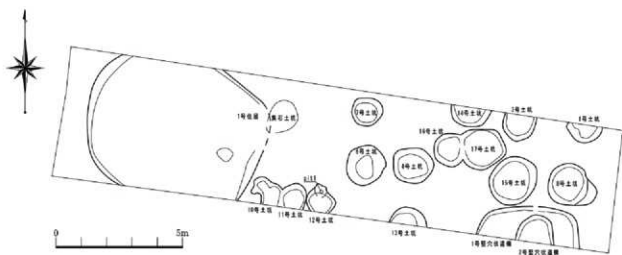


北トレンチ 調査風景(東から)





焼失住居出土遺物



不動ノ木遺跡 全体図

## No5 金ノ宮遺跡

所在地 中下条567-8

調査原因 個人住宅建設工事

調査期間 平成26年9月9日～12日

調査面積 88.73㎡

調査担当 長谷川哲也

建物基礎工事によって掘削する深度（地表面下50cm）までの調査である。基本土層は①耕作土（10cm）、②床土（10cm）、③暗褐色土（30cm）、④地山である。

遺構は竪穴建物と思われる遺構が2基、時期不明の集石遺構を1基検出した。前述のとおり、調査可能な掘削深度に限界があるため、時期の特定にいたることはできなかったが、検出した形状から平安期の遺構と思われる。出土遺物は縄文時代中期（曾利式）と平安時代土師器（9世紀後半～10世紀前半）が主である。



金ノ宮遺跡 試掘調査位置図



遺構検出状況（東から）



調査状況（南から）

## №6 金ノ宮遺跡

所在地 中下条567-9

調査原因 個人住宅建設工事

調査期間 平成26年10月24日～30日

調査面積 68.58㎡

調査担当 長谷川哲也

№5に隣接する宅地であり、建物基礎工事によって掘削する深度までの調査である。基本土層は①耕作土（10cm）、②床土（10cm）、③暗褐色土（26cm）、④地山である。

遺構は竪穴建物と思われる遺構が2基、時期不明の集石遺構を1基検出した。前述のとおり、調査可能な掘削深度に限界があるため、時期の特定にいたることはできなかったが、検出した形状と遺物から平安期の遺構と思われる。出土遺物は縄文時代中期（曾利式）と平安時代土師器（9世紀後半～10世紀前半）が主である。特筆すべき遺物として、完形に近い甲斐型の土師器が出土している。

なお、№5と№6は平成26年4月24日～5月19日にかけて金ノ宮遺跡第1次発掘調査を行った分譲地である。そのため、調査区は近接している。調査報告書については平成26年度に刊行済である。



金ノ宮遺跡 試掘調査位置図



調査風景（北東から）



完掘状況（南西から）

## №8・9 松ノ尾遺跡

所在地 中下条1444他  
調査原因 宅地造成工事  
調査期間 平成26年12月9日～22日  
調査面積 129.03㎡  
調査担当 長谷川哲也

№8・9は93条の届出人はそれぞれの土地所有者だが、開発予定区域は二人の土地を合わせたものである。そのため、同時に試掘調査を行った。設定したトレンチ6本全てで遺構・遺物を濃密に検出・出土したため、平成27年度に本調査を行った。

出土遺物は弥生時代末葉～古墳時代初頭の土器、平安時代の土師器が中心である。遺構は住居（竪穴建物）跡が2軒、竪穴状遺構が7基、溝、土坑である。詳細については、「松ノ尾遺跡15」の報告書を参照。



松ノ尾遺跡 試掘調査位置図



西区 調査前風景（西から）



東区 調査前風景（東から）



西区 調査風景（東から）



東区 土層堆積状況（南西から）

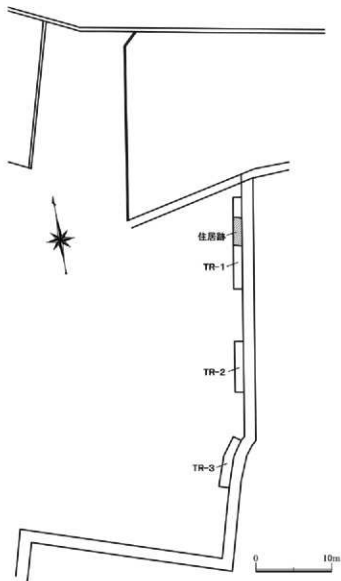
## No.16 三昧堂遺跡

所在地 中下条960-1他  
調査原因 店舗建設工事  
調査期間 平成27年3月2日～3日  
調査面積 29.715㎡  
調査担当 長谷川哲也

店舗建設事に伴う擁壁工事部分の試掘調査を行った。設定した3本のトレンチのうち、最も北側に位置するTR-1から遺構と遺物が発見された。出土遺物は土師質土器の柱状高台など、平安時代後期の様相であった。遺構は住居（竪穴建物）跡が1軒で、粗雑な作りながらカマドも検出した。出土遺物から11世紀後半から12世紀初頭の住居跡と判断した。遺構を写真・図面にて記録し、調査終了後は工事着工となった。



三昧堂遺跡 試掘調査位置図



トレンチ位置図



TR-1 完掘状況（北から）



TR-1 カマド

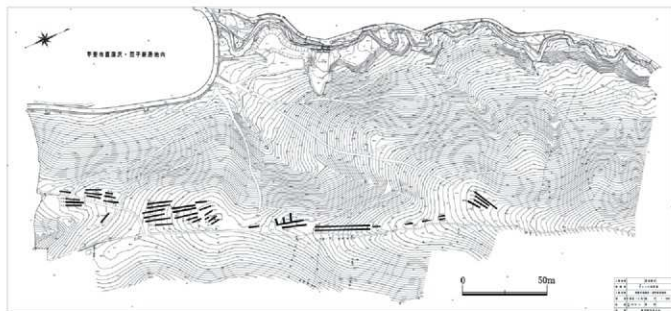
## No.17 葛蒲沢・団子新居地内試掘

所在地 同上  
 調査原因 メガソーラー発電所建設工事  
 調査期間 平成27年3月9日～31日  
 調査面積 1,856.25㎡  
 調査担当 大高正之・長谷川哲也

メガソーラー発電所の建設予定地は、山林地であるため分布調査を行っておらず、埋蔵文化財包蔵地かどうか不明である。事業着工後の遺跡の不時発見を防ぐためと、開発予定地が広大なことから樹木伐採後に試掘調査を行った。結果、縄文時代早期の尖頭器1点、黒曜石片1点、寛永通宝などの銭貨3点が出土した。遺構は確認されなかったため、事業着工となった。



試掘調査位置図



トレンチ位置図 (全44本)



調査風景 (東から)



出土遺物

## No.18 滝坂の往生塚・双葉1号墳学術調査

所在地 龍地303、221

調査原因 測量・清掃

調査期間 平成27年2月16日～3月31日

調査面積 1㎡

調査担当 大高正之

両古墳の墳丘の清掃を行ったほか、市指定史跡・滝坂の往生塚については、石室内の測量を疾測量株式会社に変更委託をして行った。

滝坂の往生塚は7世紀前後に造られた後期古墳で、直径15m、高さ約3.3mの円墳である。石室については古くから開口しているとの伝承を持つ。



調査位置図



往生塚 清掃風景（西から）



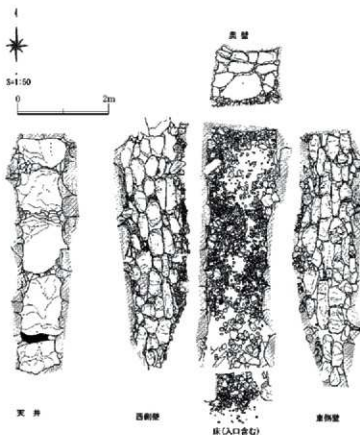
往生塚 清掃後（北東から）



双葉1号墳 清掃前（南から）



双葉1号墳 清掃風景（南から）





### 3 平成27年度 埋蔵文化財保護行政概要

当該年度の試掘件数は第2-4表に示したとおりである。届出や包蔵地問合せ件数は平成26年度とほぼ同数である。

第2-4表 平成27年度 試掘調査一覧

No	遺跡名	調査地点	対象面積 (㎡)	発掘面積 (㎡)	調査原因	種別	主な遺構	主な遺物	指示番号	備考
1	三昧堂遺跡	甲斐市中下条960-1ほか 6筆	2648.6	3	店舗建設	集落	なし	なし	平成27年1月21日 付・学文文2763号	サイン灯
2	大庭遺跡	甲斐市島上条1376番ほか 6筆	1763.59	66.08	宅地造成	集落 墳墓	住居、溝	縄文土器 弥生土器 土師器	平成27年2月27日 付・学文文3156号	H27年度 本調査実施
3	金ノ高遺跡	甲斐市中下条567-10	254.84	80.5	個人住宅	集落	溝、土坑	縄文土器 石器	平成27年3月16日 付・学文文3368号	
4	松ノ尾遺跡	甲斐市中下条1835-1	499	34	資材置き場	集落	なし	土師器	平成27年6月1日 付・学文文894号	
5	(中北建設事務所からの依頼)	甲斐市龍地6643	1	1	泉道拡張	包蔵地外	なし	なし	—	試掘依頼 №16と同日
6	金の尾遺跡	甲斐市大下条684-1他7筆	759	10	泉道拡張	集落	なし	なし	平成26年10月14日 付・学文文1962号	
7	沖田遺跡	甲斐市竜王新町1041-1	810	9.96	集合住宅	散布地	なし	なし	平成27年8月13日 付・学文文1643号	
8	唐松遺跡	甲斐市宇津谷5458	347.04	1.274	個人住宅	集落	なし	なし	平成27年10月19日 付・学文文2281号	
9	御岳田遺跡	甲斐市大下条918-1	1008	33	宅地造成	集落	住居、溝	弥生土器 土師器	平成27年10月14日 付・学文文2225号	H28年度 本調査実施 (御岳田7)
10	村統遺跡	甲斐市島上条383ほか2筆	2035	41.715	集合住宅	集落	住居	土師器	平成27年10月19日 付・学文文2282号	
11	金の尾遺跡	甲斐市大下条743	2039	210.1	宅地造成	集落	溝、土坑	土師器	平成27年11月4日 付・学文文2433号	
12	御崎神社遺跡	甲斐市玉川201-1ほか2筆	1588.08	5.6	店舗兼個人 住宅棟梁	墳墓	なし	なし	平成28年1月26日 付・学文文3182号	
13	泉尻A遺跡	甲斐市大下条460	502	25.6	宅地造成	散布地	なし	なし	平成28年1月26日 付・学文文3181号	
14	松ノ尾遺跡	甲斐市中下条1434-13	198.38	3.8	個人住宅	集落	なし	なし	平成28年2月2日 付・学文文3248号	
15	吉沢A遺跡	甲斐市吉沢784-3	394.78	2	個人住宅 浄化槽	散布地	なし	なし	平成28年1月26日 付・学文文3198号	
16	(中北建設事務所からの依頼)	甲斐市龍地6643	1	1	泉道拡張	包蔵地外	なし	なし	—	試掘依頼 №5と同日
17	周坂の住生塚・ 双葉1号墳	甲斐市龍地303、221	325	27.36	学術調査	墳墓	—	土師器 陶器	—	周溝確認 調査

第2-5表 平成27年度 開発の届出件数

	93条 (民間開発)	94条 (公共工事)	試掘依頼	計
試掘調査	9	3	1	13
工事立会	76	5	0	81
慎重工事	4	1	0	5
計	89	9	1	99

第2-6表 平成27年度 包蔵地問合せ件数

	包蔵地内	包蔵地外	計
問合せ件数	191	789	980

#### 4 平成27年度 試掘調査概要

遺構・遺物を確認した第2-4表中のNo.2、3、9～11、17の6件について以下に概要をまとめた。試掘トレンチの番号については、TR-(番号)と表記する。

##### No.2 大庭遺跡

所在地 島上条1376地

調査原因 宅地造成工事

調査期間 平成27年4月21日～5月1日

調査面積 66.08㎡

調査担当 長谷川哲也

開発予定地に4本のトレンチを設定し、遺構・遺物ともに全トレンチで確認した。堆積土は①旧耕作土(39cm)、②黒褐色土層(15cm)、③黒褐色土層(遺物包含層・42cm)、④暗褐色土層(21cm)、⑤地山となる。遺構は竪穴建物跡1軒、竪穴状遺構4基、溝1条、土坑3基を検出し、遺物は縄文土器、弥生土器、古墳時代の土師器、平安時代の土師器が出土した。試掘の結果、本調査が必要となる旨を申請者宛に回答した。本調査は平成27年8月から11月にかけて行われた。なお、整理分析調査は現在も断続的に継続中である。



大庭遺跡 試掘調査位置図



TR-2 土層堆積・遺物出土状況(西から)



TR-2 完掘状況(北から)

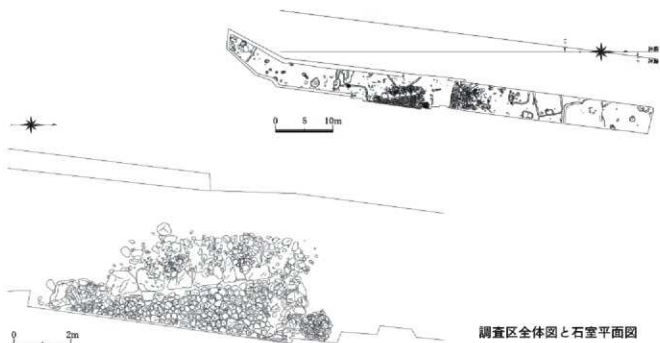


TR-4 遺構検出状況(南から)



TR-4 遺物出土状況





調査区全体図と石室平面図

### No.3 金ノ宮遺跡

所在地 中下条567-10

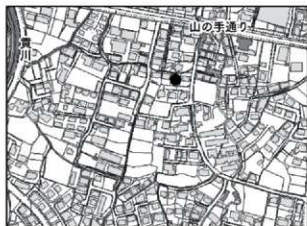
調査原因 個人住宅建設工事

調査期間 平成27年4月27日～5月1日

調査面積 80.5㎡

調査担当 長谷川哲也

前年度に行った本調査の分譲地内の試掘調査で、建物基礎工事によって掘削する深度までの調査である。基本土層は①耕作土(30cm)、②地山であった。溝1条、土坑4基を確認し、縄文土器・石器が出土した。掘削深度が限定されているため、遺構の完掘は行っていないが、溝からの出土遺物は縄文土器が主であったため、縄文時代中期の溝と思われる。土坑の性格は不明である。



金ノ宮遺跡 試掘調査位置図



遺構確認状況



出土遺物

## No.9 御岳田遺跡

所在地 大下条918-1

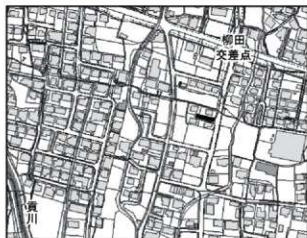
調査原因 宅地造成工事

調査期間 平成27年11月9日～16日

調査面積 33㎡

調査担当 長谷川哲也

分譲地の道路部分にトレンチを2ヵ所設定した。どちらのトレンチからも遺構・遺物を確認した。東側のTR-1は竪穴建物跡、土器集中地点、土坑、溝2条が、西側のTR-2は溝3条を確認した。遺物は弥生時代後期～古墳時代初頭にかけての遺物が中心であった。申請者に本調査が必要である旨を回答し、平成28年度に発掘調査・整理分析調査を行った。詳細は「御岳田遺跡7」の報告書を参照。



御岳田遺跡 試掘調査位置図



TR-1 作業風景 (東から)



TR-1 遺構検出状況 (南から)



TR-1 遺構検出状況 (西から)



TR-2 遺構検出状況 (東から)

## No10 村続遺跡

所在地 島上条383地  
 調査原因 集合住宅建設工事  
 調査期間 平成27年11月11日～19日  
 調査面積 41.715㎡  
 調査担当 長谷川哲也

地盤改良工事によって掘削する深度までの調査である。地盤改良深度より浅い深さで遺構・遺物を確認した。基本土層は①水田面（33cm、耕作土・床土）、②旧水田面（14cm、耕作土・床土）、③黒色土（8cm）、④地山（遺構検出面）である。水田面は2層確認した。遺構は竪穴建物跡4軒（古墳3・平安1）を検出した。調査の結果、地盤改良を行わずに基礎工事を行い、30cm以上の保護層を設けることとなったため、本調査は行わずに埋め戻した。



村続遺跡 試掘調査位置図



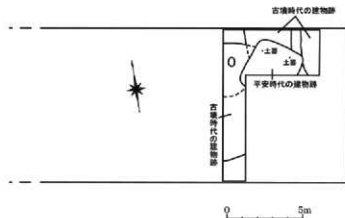
TR-2 遺構検出状況（西から）



TR-2 出土遺物



TR-2 土層堆積状況（南から）



TR-2 遺構位置図

## No.11 金の尾遺跡

所在地 大下条743

調査原因 宅地造成工事

調査期間 平成27年12月2日～18日

調査面積 210.1㎡

調査担当 長谷川哲也

トレンチを1本設定して調査を開始したところ、遺構・遺物を多量に確認した。部分的に拡張をして調査を行ったところ、古墳時代前期の自然流路及び溝跡4条、おそらく古墳時代に属すると思われる土坑4基を確認した。自然流路とからむ溝跡からは、完形の直口壺(埴)や、S字状口縁台付甕の破片など、多量の土器片が出土した。自然流路及び溝の堆積状況は下層が砂礫層、上層が黒色土層となっている。砂礫は1cm～2cm大の小礫を含む。



金の尾遺跡 調査位置図



自然流路 土層堆積状況(北壁)



溝 遺物(直口壺)出土状況



自然流路 土層堆積状況(南壁)



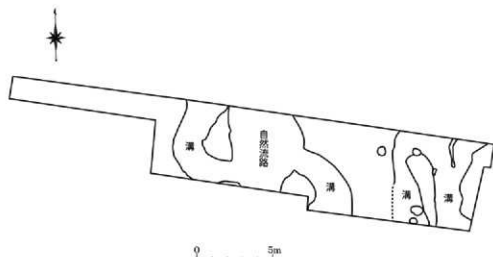
完掘状況(西から)



自然流路に伴う溝 下層出土遺物①



自然流路に伴う溝 下層出土遺物②



金の尾遺跡 全体図

### No.17 滝坂の往生塚・双葉1号墳学術調査

所在地 龍地303、221  
 調査原因 測量・周溝確認調査  
 調査期間 平成28年3月8日～3月31日  
 調査面積 27.36㎡  
 調査担当 大嵩正之

両古墳の墳丘測量を行った。往生塚の周溝有無を確認するためのトレンチを設定したが、周溝は確認できなかった。双葉1号墳については、石室入口の位置確認を行ったものの確認できなかった。調査終了後はトレンチに山砂を敷いたのちに人力で埋め戻した。

なお、測量は疾測量株式会社業務委託をして行った。



調査位置図



往生塚 調査風景



往生塚 TR-3 (北から)



同左



往生塚 TR-1 (西から)



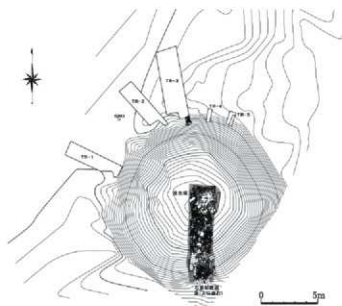
双葉1号墳 調査風景



双葉1号墳 TR-2 (東から)



双葉1号墳



往生塚

## 年 報 抄 録

ふりがな	かいしぶんかいさんねんぼう
書名	甲斐市文化遺産年報 2
副書名	平成26年度・平成27年度
巻次	
シリーズ名	甲斐市文化財調査報告書
シリーズ番号	32
編著者名	長谷川 哲也
編集機関	甲斐市教育委員会
所在地	〒400-0192 山梨県甲斐市篠原2610
発行年月日	令和2年〔西暦2020年〕3月30日

### 平成26年度 試掘等

所収遺跡名など	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
松ノ尾遺跡	集落/墓域	古墳・平安	溝	土師器	平成29年度に松ノ尾遺跡第16次本調査を実施。
不動ノ木遺跡	集落	古墳・平安	住居、土坑	土師器	弥生末期～古墳初頭に属する焼失住居1軒を検出。
金ノ宮遺跡	集落	縄文・平安	竪穴状遺構	縄文土器・土師器	
金ノ宮遺跡	集落	縄文・平安	竪穴状遺構	縄文土器・土師器	
松ノ尾遺跡	集落/墓域	古墳・平安	住居、溝	土師器	平成27年度に松ノ尾遺跡第15次本調査を実施。
三昧堂遺跡	集落	平安	住居	土師質土器	11世紀後半～12世紀初頭の住居跡1軒を検出。
メガソーラー試掘	包蔵地外	—	—	尖頭器・古銭	
滝坂の往生塚 双葉1号墳	古墳	古墳	—	—	往生塚の石室測量を行った。

### 平成27年度 試掘等

所収遺跡名など	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
大庭遺跡	古墳/集落	古墳・平安	溝	土師器・須恵器	本年度に大庭遺跡第1次本調査を実施し、古墳石室検出。
金ノ宮遺跡	集落	縄文・平安	竪穴状遺構	縄文土器・土師器	
御岳田遺跡	集落/墓域	弥生・古墳	住居、溝	弥生土器	平成28年度に御岳田遺跡第7次本調査を実施。
村繞遺跡	集落	古墳・平安	住居	土師器	遺構が切り合う古墳・平安期の住居跡を検出した。
金の尾遺跡	集落/墓域	古墳	溝、自然流路	土師器	
滝坂の往生塚 双葉1号墳	古墳	古墳	—	須恵器・陶器	往生塚の周溝確認調査を行ったが、検出されず。双葉1号墳は石室入口確認調査を行ったが、検出されず。

甲斐市文化財調査報告書 第32集

---

## 甲斐市文化遺産年報2

平成26年度・平成27年度

発 行 日 令和2年(2020)3月30日  
発 行 甲斐市教育委員会  
山梨県甲斐市篠原2610  
TEL (055) 278-1697  
印 刷 株式会社 少 國 民 社  
山梨県甲府市住吉1丁目13番1号

---